

お客さま 各位

2019年7月25日

株式会社 GCI アセット・マネジメント

月次レポートにおける誤記載のご報告とお詫び

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、GCI オルタナティブバスケット・ファンド V10（ラップ専用）及び GCI オルタナティブバスケット・ファンド V3（ラップ専用）の 2019 年 5 月末基準の月次レポート 2 本につきまして、一部誤りがございましたので、以下のとおり訂正いたします。

この度の誤りについて謹んでお詫び申し上げますとともに、今後、一層の業務管理体制の向上に努めて参りますので、何卒ご高察賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

<対象>

月次レポート(2019年5月末)

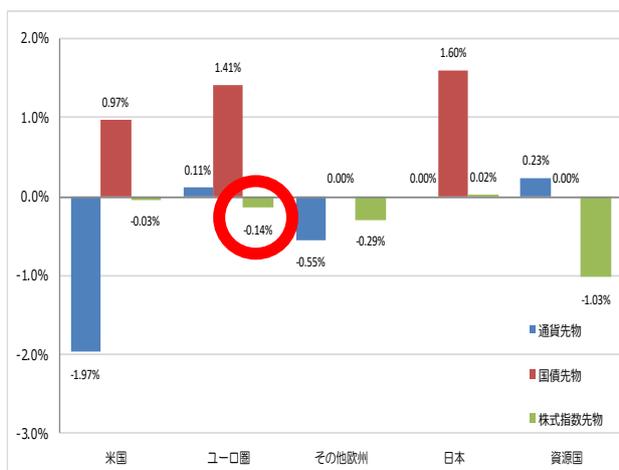
・GCI オルタナティブバスケット・ファンド V10（ラップ専用）

・GCI オルタナティブバスケット・ファンド V3（ラップ専用）

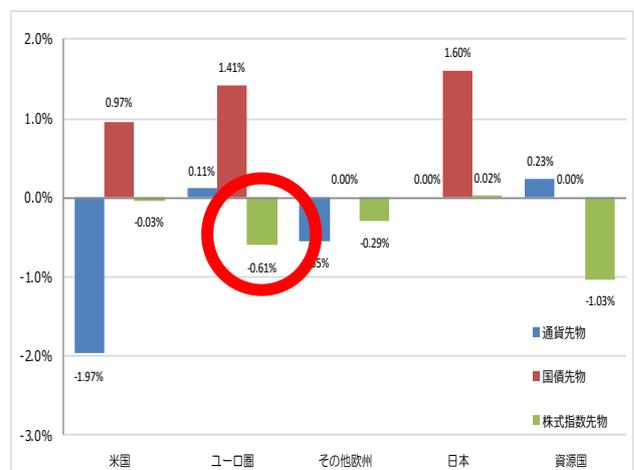
GCI システムティック・マクロファンド Vol10 クラス M 「各資産の寄与度(概算)」(2 ページ)

<訂正内容>

【誤】



【正】



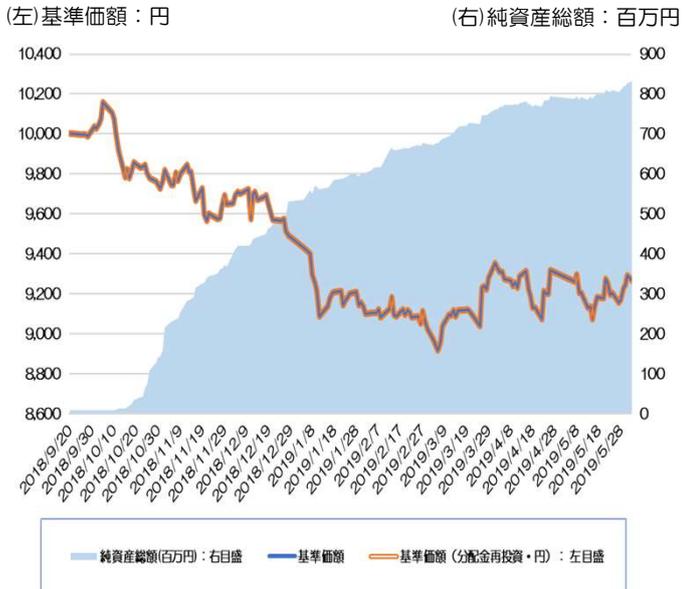
以上

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

基準価額の推移



	当月末	前月末
基準価額	9,292円	9,319円
純資産総額	828百万円	794百万円

期間別騰落率		分配金(1万口当たり、税引前)	
1ヵ月	-0.29%	第1期 2019年 6月期	-
3ヵ月	2.45%	第2期 2020年 6月期	-
6ヵ月	-3.70%	第3期 2021年 6月期	-
1年	-	設定来累計	-
3年	-		
設定来	-7.08%		

※ データは、設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後の値です（後述のファンドの費用をご覧ください。）

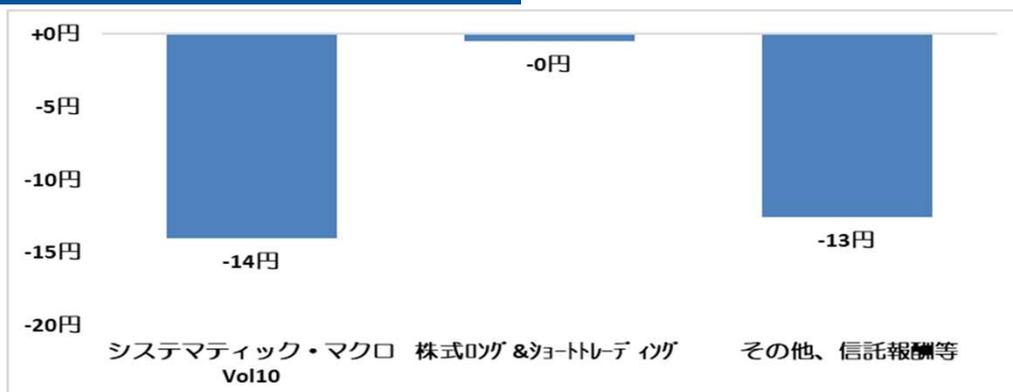
※ ファンドの騰落率は分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
 ※ 運用状況によっては分配金額が変わる場合または分配金が支払われない場合があります。

信託財産の資産構成比率

構成資産	組入比率
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	99.9%
現金・その他	0.1%
合計	100%

※ 上記構成比率は、ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

基準価額騰落率の要因分析（月次ベース・概算）



GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用状況

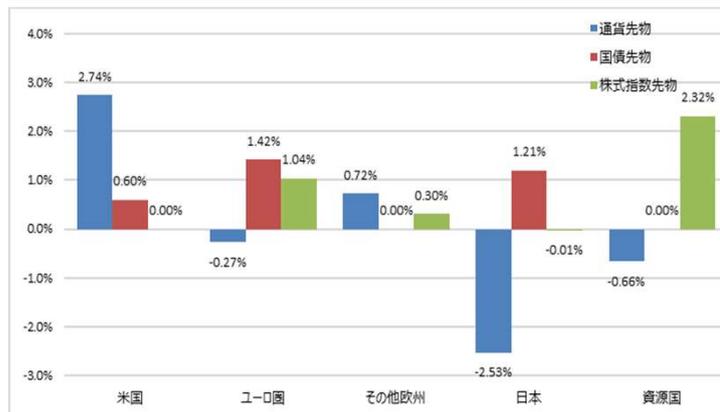
資産別構成比

構成資産	組入比率
GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスM	88.5%
GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)	10.1%
現金・その他	1.5%
合計	100.1%

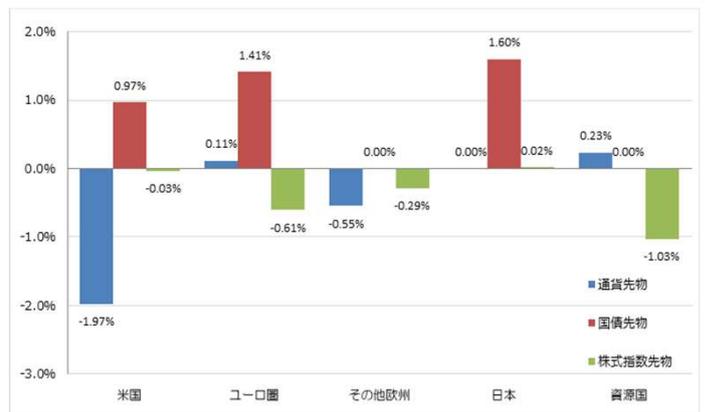
※上記構成比率は、ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスM

配分比率



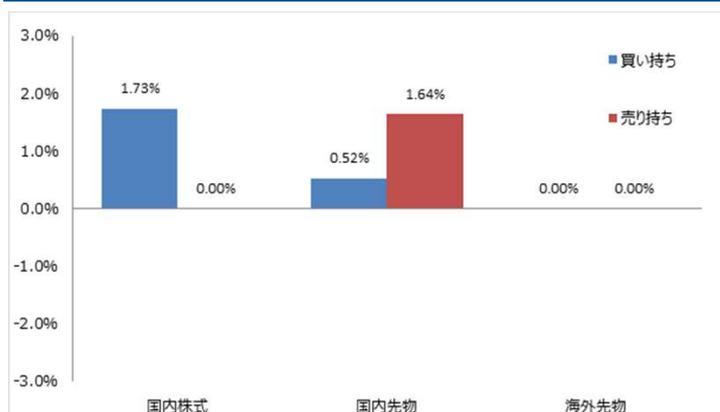
各資産の寄与度 (概算)



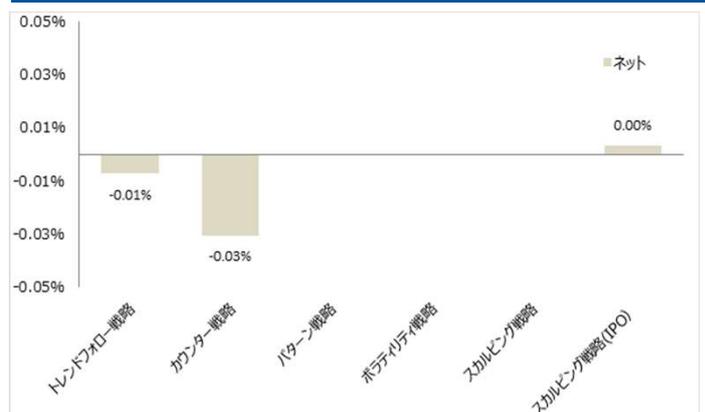
※ 上記ポートフォリオ断面のグラフは、ポジションを構築するにあたって差し入れる証拠金の対純資産総額比率です。マイナスはショートポジションを意味します。証拠金はリスク見合いで差し入れるものであるため、当該指標はポートフォリオにおけるリスクをより実態に近い形で表すものと考えられています。

GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)

配分比率



各資産の寄与度 (概算)



GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10
(ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
設定日：2018年9月20日
決算日：原則、毎年6月15日
(休業日の場合は翌営業日)
信託期間：無期限

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用) 運用担当者のコメント

<1> 今月の投資環境と投資行動

5月のグローバル株式市場は下落しました。上旬にトランプ米大統領が中国に対して関税引き上げを表明、その後実行となり中国もこれに対し反撃の姿勢を示すなど米中通商交渉への懸念は続き、また月末には米国により対メキシコへの追加関税が表明されるなど、これらを材料に世界的に株式市場は下落が続く展開となりました。日本株も同様に下落し、また円高の進行も重しとなり、日経平均株価は月間で7%以上の下落となりました。グローバル債券市場は上昇しました。米国による対中関税引き上げと中国による対抗措置、低調な経済指標、EU離脱にかかる英政権の混乱等を背景に月を通して金利は低下基調となりました。

このような市場環境のなか、当ファンドの5月の騰落率は▲0.29%となりました。GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドは、定性・定量評価や想定リスクを勘案のもと、現在は後述の2ファンドを組入れ、各ファンドの騰落率は、GCIシステムティック・マクロファンドVol10が▲0.14%、GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドが▲0.04%となりました。なお、GCIリラティブバリューファンドは、ファンドが償還されるはこびとなりましたため、本年3月末に投資対象ファンドより除外といたしました。当ファンド設定以来組入の実績はなく、当ファンドの運用において実質的な影響はございません。今後も引き続き、想定リスク等を勘案したポートフォリオの運営を行ってまいります。

文責：GCIオルタナティブバスケット・ファンド 運用チーム

組入ファンドの運用担当者のコメント

<1> GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスMについて

当月も独自開発の動的ポートフォリオ・モデルに基づき、世界各国の株式市場・債券市場・為替市場へ分散投資を行いました。

世界経済のダウンサイド・リスクが意識され、各中央銀行も利上げに対して慎重な姿勢を示していることからグローバルに国債価格が安定的に上昇を続けてきたことから当戦略でも欧米国債や日本国債の買いポジションが主要なポジションとなりました。市場のリスクセンチメントが改善する中では安全資産である国債価格が下落する傾向にありますが、そのようなシナリオに備えて通貨ポジションの組み合わせと株式の買いポジションが活用されました。当月は米中通商協議の難航から市場参加者のリスクセンチメントが悪化し、株式等のリスク資産価格は急落した一方、国債等の安全資産価格が上昇しました。主要ポジションの国債ポジションから収益があがったものの、これまで安定的な動きを示していたリスク資産価格が急反落となったため、通貨ポジション・株式ポジションがその収益を相殺するに至りました。引き続きグローバル金融市場において金利低下の動きが最も顕著であることから、国債の買い持ちポジションがポートフォリオの中核となる見通しです。国債価格の下落リスクに備えては通貨・株式ポジションが活用され、国債ポジションが損失を生むようなシナリオでこれらのポジションからの収益が期待されます。資産間の相関性が変化する動きとなれば従来通り機動的にポートフォリオが調整されていきます。

文責：GCIシステムティック・マクロファンド 運用チーム

<2> GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスFについて

5月の各戦略は、トレンドフォロー戦略およびカウンター戦略がマイナス寄与となりました。月中の価格高低差（月中の高値と安値の差）はやや拡大傾向になってきましたが、短期トレーディングにおける重要な要素の一つである日次の値幅は安定的に広がりきれておらず、今後、メイン戦略が機能するようなマーケット環境の到来待ちの状況と認識しています。

株式売買金額上位の主な銘柄はソフトバンクグループ、自律制御システム研究所、カオナビ、伊藤忠商事、トピラスシステムズなどとなりました。銘柄別の寄与度では、自律制御システム研究所、日本ホスピスホールディングス、ギフト、トピラスシステムズ、Amaziaなどがプラス寄与となる一方で、UACJ、ジャパンディスプレイ、CRI・ミドルウェア、ソフトバンクグループ、伊藤忠商事などがマイナス寄与となりました。

今後の株式市場につきましては、再びボラティリティの上昇する良好な相場環境になっていくと見られます。当ファンドにつきましては、引き続き短期のトレーディング戦略の特徴を最大限に生かし、IPO銘柄投資を含む統計的、数学的アプローチによる投資機会を獲得していくように努めます。一方、リスクマネジメントにおいては、厳格な管理によるきめ細かなリスク管理を引き続き行います。特に、ファンド・パフォーマンスの一尺度であるシャープレシオ（リスク調整済リターン）を重視した運用を行います。

文責：GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド 運用チーム

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
設定日：2018年 9月20日
決算日：原則、毎年6月15日
(休業日の場合は翌営業日)
信託期間：無期限

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

この投資信託は、中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

- 1 「GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます)」を通じて、GCIアセット・マネジメントのオルタナティブ戦略(指定投資信託証券)に投資することにより、絶対収益の追求を目指します。

オルタナティブ戦略とは

オルタナティブは英語で「代替」という意味です。株式や債券などの伝統的投資に対して、それ以外の新しい投資スタイルを総称することからオルタナティブ投資と呼ばれています。具体的には、ヘッジファンドやプライベートエクイティ、実物資産、REITなどが挙げられます。

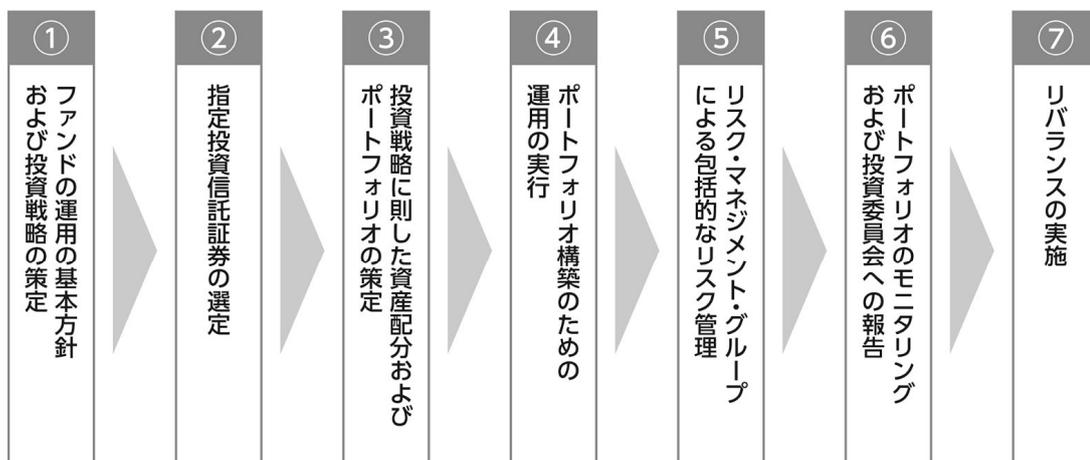
絶対収益追求とは

特定の市場の動向に左右されにくい収益の追及を目指すことをいいます。必ず、収益を得られることを意味するものではありません。

- 2 投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行うことを基本とします。

※別に定める投資信託証券の詳細につきましては、後掲の「追加的記載事項」をご覧ください。

<運用プロセス>



※上記プロセス図は2018年7月末現在のものであり、今後、変更する場合があります。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

3

実質的な外貨建資産については、市場環境の変化等を勘案し、必要に応じて為替ヘッジを行うことができます。

4

原則、毎年6月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、以下の分配方針に基づき、分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
- 分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。



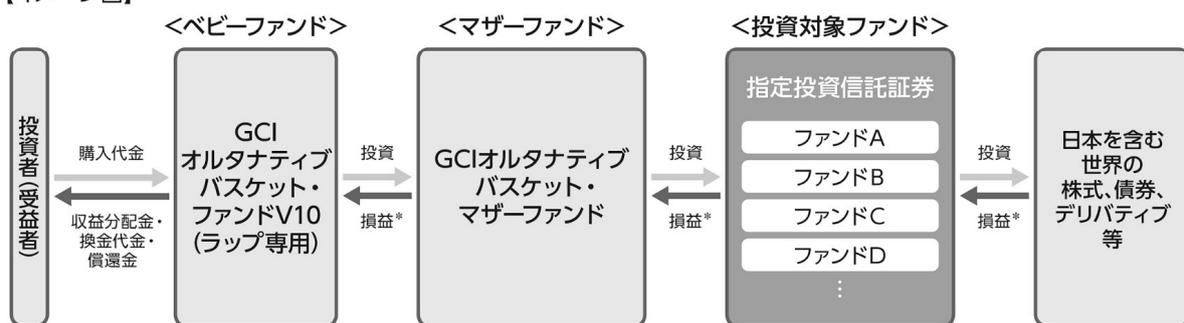
決算

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払い及びその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。
 「ファミリーファンド方式」とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資をして、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。
- マザーファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。
 「ファンド・オブ・ファンズ方式」とは、他の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。マザーファンドでは、指定投資信託証券として後記に掲げる各投資信託を主要投資対象とします。

【イメージ図】



* 損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

<主な投資制限>

- マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。
- 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- デリバティブ取引の直接利用は行いません。

資金動向や市況動向などによっては、上記のような運用ができない場合があります。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

追加的記載事項

投資対象ファンド(投資信託証券)の概要は以下のとおりです。(2018年7月末現在)

※必ずしもすべての資産クラスおよび投資対象ファンドに投資するとは限りません。

※将来の市況の変化などによっては、新たな投資対象ファンドが追加となる場合があります。

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM
ファンド形態	外国籍投資信託(円建て)
主な投資対象	世界各国の株式指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針等	独自に開発した動的ポートフォリオモデルに基づき、世界の金融市場への分散投資を通じて市場に現れる中長期のトレンドを収益の源泉として絶対収益の獲得を目指します。
ベンチマーク	ありません。
運用報酬等	ありません。
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)
ファンド形態	追加型証券投資信託
主な投資対象	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンドの受益証券
運用の基本方針等	主として、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、独自に開発した短期アルゴリズム取引を組み合わせた短期トレーディングによるロング・ショート運用を行い、中長期的な信託財産の成長と安定した収益の確保を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。
ベンチマーク	ありません。
信託報酬等	年0.0378%(税抜年0.035%)
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCIリラティブバリューファンド クラスE1
ファンド形態	外国籍投資信託(円建て)
主な投資対象	わが国および米国の国債、デリバティブ
運用の基本方針等	日米の国債市場を中心に、スワップ、オプション等のデリバティブ取引も積極的に活用しながら、需給動向に伴う相対的な価格のゆがみを収益の源泉として安定した絶対収益の獲得を目指します。
ベンチマーク	ありません。
運用報酬等	ありません。
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	国内債券
投資対象ファンドの名称	GCI マネープールファンド(適格機関投資家専用)
ファンド形態	追加型証券投資信託
主な投資対象	GCIマネープールマザーファンドの受益証券
運用の基本方針等	主として、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の短期公社債等を投資対象とし、安定した収益の確保をめざして運用を行います。なお、コール・ローン等で運用する場合があります。
ベンチマーク	ありません。
信託報酬等	年0.02268%(税抜年0.021%)
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

追加的記載事項

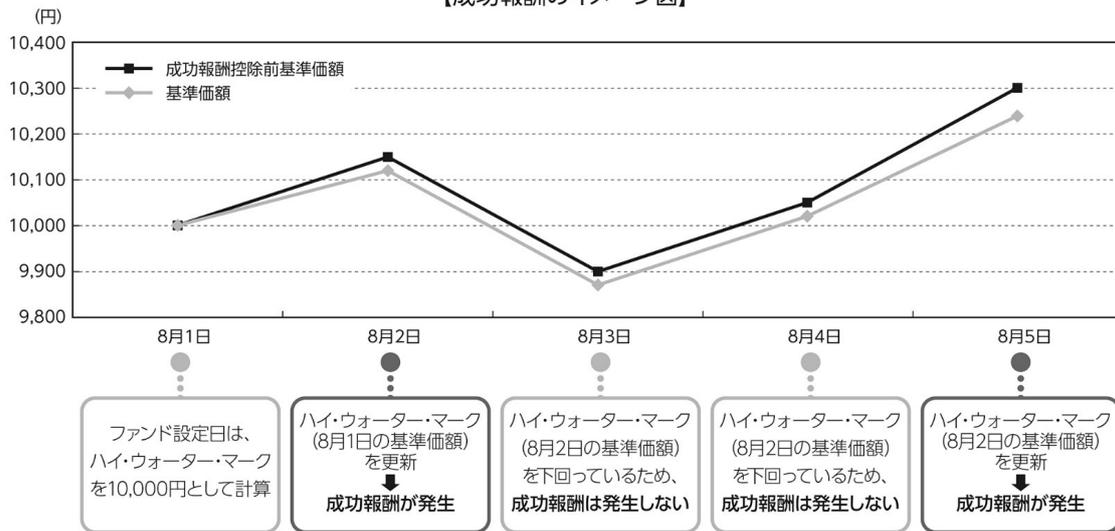
【補足】成功報酬に関するご説明

当ファンドでは、成功報酬をご負担いただきます。成功報酬計算方法のポイントは、以下のとおりです。

- 成功報酬は、ハイ・ウォーター・マーク方式で発生します。
- 成功報酬は、日々計算し、日々確定します。なお、算出式は以下のとおりです。
 - (1) 当日の基準価額から基本報酬額を控除します。（基本報酬控除後の基準価額を、ここでは「参照基準価額」といいます。）
 - (2) ハイ・ウォーター・マーク*よりもその参照基準価額の方が上回った場合、その上回った分に対し、21.6%（税抜20%）相当を成功報酬として控除されます。

*ハイ・ウォーター・マーク（「HWM」と表す場合があります）とは、当ファンドの「基準価額の過去最高値」を表します。
- このため、当日の成功報酬を算出する際のハイ・ウォーター・マークは、前日までの基準価額の最高値となります。
- 成功報酬は日々確定するため、計算期間内に基準価額が下落した場合でも、確定した成功報酬をファンドに払い戻すことはありません。

【成功報酬のイメージ図】



なお、当ファンドでは、基準価額の変動および資金の流出入によって、当ファンドの投資家間の負担の程度が異なるケースがあります。例えば、上記イメージ図において、8月1日に投資を開始した投資家Aは、8月2日の上昇時に成功報酬がかかるため、8月4日時点までの累積で成功報酬を差し引かれていることとなります。

一方、8月3日に投資を開始した投資家Bは、8月4日の上昇時には成功報酬はかからず、8月4日時点までの累計で成功報酬を差し引かれていません。加えて、8月5日に関しては、投資家A・投資家BともにHWM（8月2日時点の基準価額）に対する超過分に対して成功報酬が計算されます。結果として、累積で見ると投資家Aについては8月1日以降の上昇分全てに対して成功報酬がかかる一方、投資家Bについては投資開始時点のHWM（8月2日時点の基準価額）を超過した分のみ成功報酬がかかることとなります。

上記は、当ファンドにおける成功報酬の仕組みを投資家の皆様にご理解いただくために作成したイメージ図であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。**

当ファンドが有する主なリスク要因は以下の通りです。

株価変動リスク	株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
金利変動リスク	債券などの価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。なお、債券などが変動金利である場合、こうした金利変動による価格の変動は固定金利の場合と比べて小さくなる傾向があります。また、発行者・債務者などの財務状況の変化などおよびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。債券などの価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、政治情勢などの様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、当ファンドおよび投資対象ファンド(投資信託証券)において、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。
信用リスク	有価証券等の発行体などが財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金などをあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、方針に沿った運用が困難となり、基準価額が下落することがあります。
流動性リスク	時価総額が小さい、取引量が少ないなど流動性が低い市場、あるいは取引規制などの理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。
ヘッジファンドの運用手法に係るリスク	投資対象ファンド(投資信託証券)においては、直接もしくは実質的に現物有価証券、デリバティブや為替予約取引などの買建てや売建てによりポートフォリオを組成することがあり、買い建てている対象が下落した場合もしくは売り建てている対象が上昇した場合に損失が発生し、当ファンドの基準価額に影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンド(投資信託証券)の純資産総額を上回る買建て、売建てを行う場合があるため、投資対象ファンド(投資信託証券)の基準価額は現物有価証券に投資する場合と比べ大きく変動することがあり、投資元本を割り込むことがあります。また、ヘッジファンドのパフォーマンスは、通常、運用者の運用能力に大きく依存することになるため、市場の動向に関わらず、損失が発生する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
設定日：2018年 9月20日
決算日：原則、毎年6月15日
(休業日の場合は翌営業日)
信託期間：無期限

投資リスク

その他の留意点

- ファミリーファンド方式に関する留意事項
当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用を行うため、マザーファンドにおいて他のベビーファンドによる追加設定、一部解約等に伴う有価証券の売買等が行われた場合、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 収益分配金に関する留意事項
分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は、前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

運用リスクの管理については、運用部門から独立したリスク・マネジメント・グループが日々運用状況の分析およびモニタリングを行い、原則として週次で開催される運用リスク管理会議にて運用リスクの適切性を検証・評価し、リスク管理会議および運用政策会議に報告されます。また、問題が生じた場合には速やかに臨時で招集される運用政策会議に報告が行われ、その対応策が検討・決定される体制となっています。

事務リスク等の管理については、原則として月次で開催される事務リスク等管理会議において、運用に係る業務運営の適切性が検証され、リスク管理会議に報告される体制となっています。

そして、リスク管理会議において、各リスクの発生の有無・状況の把握、対応方針の検討・決定および進捗状況の管理などを行い、重要な事項はさらに運用政策会議に報告される体制となっています。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	当初申込期間：1口当たり1円とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた分を当日のお申込み分とします。
購入の申込期間	当初申込期間：2018年9月19日 継続申込期間：2018年9月20日から2019年9月17日までとします。 ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
購入・換金の申込受付不可日	以下に該当する日には、購入・換金はできません。 ・シンガポールの銀行休業日の前営業日 ※詳しい申込受付不可日については、販売会社または委託会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(設定日：2018年9月20日)
繰上償還	受益権の総口数が10億口を下ることとなった場合等は、償還となる場合があります。
決算日	原則、毎年6月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配金の受取方法により、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託金の限度額	500億円
公 告	原則として電子公告の方法により行い、委託会社のホームページにて行います。 URL : https://www.gci.jp
運用報告書	毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。 配当控除・益金不算入制度の適用はありません。
そ の 他	購入申込みにあたっては、販売会社によってラップ口座の開設が必要な場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用													
購入時手数料	ありません。												
信託財産留保額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.1% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。												
投資者が信託財産で間接的に負担する費用													
運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、(1)基本報酬に(2)成功報酬を加算して得た額とします。 ファンドの信託報酬は毎日計算し、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p> <p>(1)基本報酬 日々のファンドの純資産総額に基本報酬率を乗じて得た額とします。 基本報酬率：純資産総額に対し年率1.3392% (税抜1.24%) 基本報酬の配分ならびにこれらを対価とする役務の内容は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率(年率)</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>1.2960% (税抜1.20%)</td> <td>委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.0108% (税抜0.01%)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.0324% (税抜0.03%)</td> <td>信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など</td> </tr> </tbody> </table> <p>投資対象ファンド(投資信託証券)における運用報酬等：年率0.01512%程度(税抜0.014%程度)* 実質的な負担：年率1.35432%程度(税抜1.2540%程度)* *上記の値はあくまで目安であり、指定投資信託証券の実際の組入れ状況等により変動する場合があります。</p> <p>(2)成功報酬 委託会社は、基本報酬に加えて、ハイ・ウォーター・マーク方式を用いた成功報酬を受領します。 基本報酬等控除後の基準価額が、その時点におけるハイ・ウォーター・マーク(基準価額の過去最高値)を上回った場合、その上回った部分に対し21.6% (税抜20%)相当の成功報酬がかかります。</p>	支払先	料率(年率)	役務の内容	委託会社	1.2960% (税抜1.20%)	委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など	販売会社	0.0108% (税抜0.01%)	購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど	受託会社	0.0324% (税抜0.03%)	信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など
	支払先	料率(年率)	役務の内容										
	委託会社	1.2960% (税抜1.20%)	委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など										
	販売会社	0.0108% (税抜0.01%)	購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど										
受託会社	0.0324% (税抜0.03%)	信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など											
その他の費用・手数料	<p><売買委託手数料など> 別に定める指定投資信託証券・有価証券売買時の売買委託手数料、立替金の利息、ファンドに関する租税などが信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</p> <p><信託事務の諸費用> 監査費用、印刷費用、計理業務およびこれに付随する業務に係る費用などの諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</p>												

※投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V10 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

委託会社・その他の関係法人の概要

委託会社	<p>株式会社GCIアセット・マネジメント [ファンドの運用の指図を行う者]</p> <p>金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第436号 加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会</p>
照会先	<p>電話番号 03（3556）5040（営業日の9:00～17:00） ホームページ https://www.gci.jp</p>
受託会社	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社） [ファンドの財産の保管及び管理を行う者]</p>

販売会社

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	日本商品先物 取引協会
楽天証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長（金商） 第195号	○	○	○	○	○

- ・ お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<ご留意事項>

- 当資料は、株式会社GCIアセット・マネジメント（以下「当社」といいます）が、当ファンドの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、必ず最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は、作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、参考として記載されたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。
- 投資信託は預金保険制度の対象ではありません。また、銀行が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信 / 内外 / 資産複合 / 特殊型 (絶対収益追求型)

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 (休業日の場合は翌営業日)
 信託期間：無期限

基準価額の推移



	当月末	前月末
基準価額	9,776円	9,786円
純資産総額	67百万円	67百万円

期間別騰落率		分配金(1万口当たり、税引前)	
1ヵ月	-0.10%	第1期 2019年 6月期	-
3ヵ月	0.72%	第2期 2020年 6月期	-
6ヵ月	-1.15%	第3期 2021年 6月期	-
1年	-	設定来累計	-
3年	-		
設定来	-2.24%		

※ データは、設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後の値です(後述のファンドの費用をご覧ください。)

※ ファンドの騰落率は分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 運用状況によっては分配金額が変わる場合または分配金が支払われない場合があります。

信託財産の資産構成比率

構成資産	組入比率
GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド	30.2%
GCIマネープールマザーファンド	69.6%
現金・その他	0.1%
合計	99.9%

※ 上記構成比率は、ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

基準価額騰落率の要因分析(月次ベース・概算)



GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドの運用状況

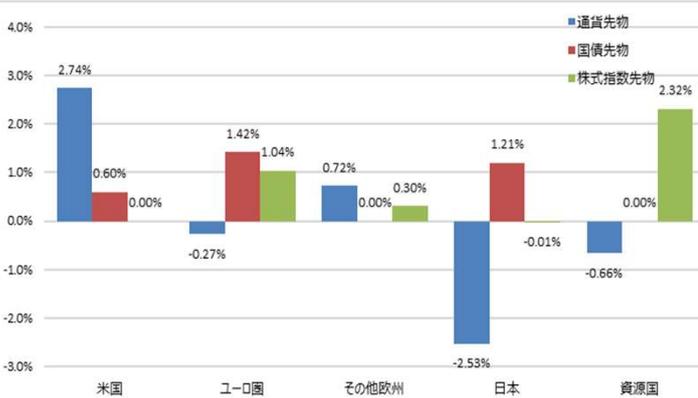
資産別構成比

構成資産	組入比率
GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスM	88.5%
GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)	10.1%
現金・その他	1.5%
合計	100.1%

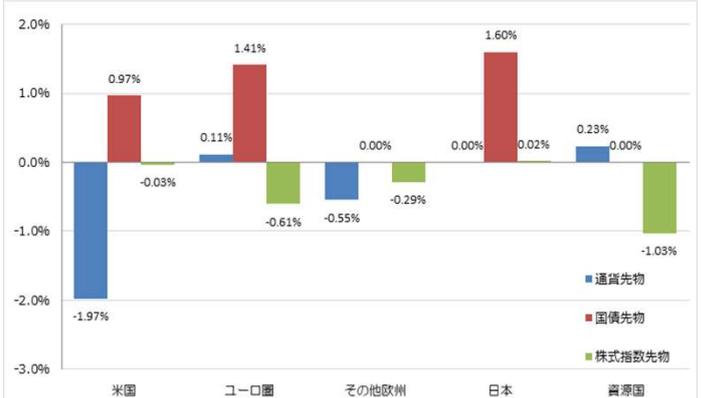
※上記構成比率は、ファンドの純資産総額に対する比率であり、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

GCIシステムティック・マクロファンド Vol 10 クラスM

配分比率



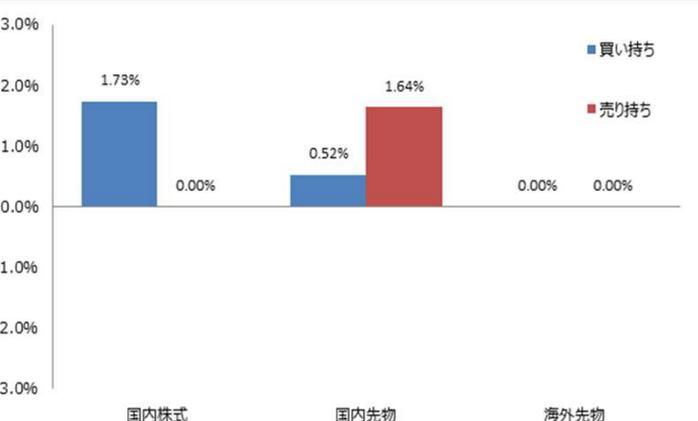
各資産の寄与度 (概算)



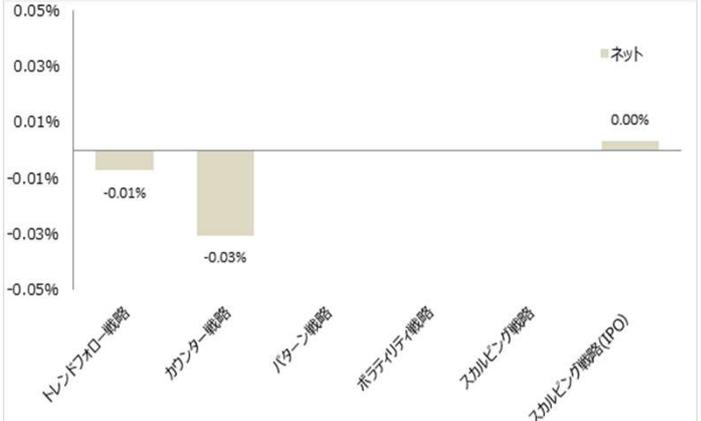
※ 上記ポートフォリオ断面のグラフは、ポジションを構築するにあたって差し入れる証拠金の対純資産総額比率です。マイナスはショートポジションを意味します。証拠金はリスク見合いで差し入れるものであるため、当該指標はポートフォリオにおけるリスクをより実態に近い形で表すものと考えられています。

GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)

配分比率



各資産の寄与度 (概算)



GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3（ラップ専用）運用担当者のコメント

<1> 今月の投資環境と投資行動

5月のグローバル株式市場は下落しました。上旬にトランプ米大統領が中国に対して関税引き上げを表明、その後実行となり中国もこれに対し反撃の姿勢を示すなど米中通商交渉への懸念は続き、また月末には米国により対メキシコへの追加関税が表明されるなど、これらを材料に世界的に株式市場は下落が続く展開となりました。日本株も同様に下落し、また円高の進行も重しとなり、日経平均株価は月間で7%以上の下落となりました。グローバル債券市場は上昇しました。米国による対中関税引き上げと中国による対抗措置、低調な経済指標、EU離脱にかかる英政権の混乱等を背景に月を通して金利は低下基調となりました。

このような市場環境のなか、当ファンドの5月の騰落率は▲0.10%となりました。GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドは、定性・定量評価や想定リスクを勘案のもと、現在は後述の2ファンドを組入れ、各ファンドの騰落率は、GCIシステムティック・マクロファンドVol10が▲0.14%、GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドが▲0.04%となりました。なお、GCIリラティブバリューファンドは、ファンドが償還されるはこびとなりましたため、本年3月末に投資対象ファンドより除外といたしました。当ファンド設定以来組入の実績はなく、当ファンドの運用において実質的な影響はございません。今後も引き続き、想定リスク等を勘案したポートフォリオの運営を行ってまいります。

文責：GCIオルタナティブバスケット・ファンド 運用チーム

組入ファンドの運用担当者のコメント

<1> GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスMについて

当月も独自開発の動的ポートフォリオ・モデルに基づき、世界各国の株式市場・債券市場・為替市場へ分散投資を行いました。

世界経済のダウンサイド・リスクが意識され、各中央銀行も利上げに対して慎重な姿勢を示していることでグローバルに国債価格が安定的に上昇を続けてきたことから当戦略でも欧米国債や日本国債の買いポジションが主要なポジションとなりました。市場のリスクセンチメントが改善する中では安全資産である国債価格が下落する傾向にありますが、そのようなシナリオに備えて通貨ポジションの組み合わせと株式の買いポジションが活用されました。当月は米中通商協議の難航から市場参加者のリスクセンチメントが悪化し、株式等のリスク資産価格は急落した一方、国債等の安全資産価格が上昇しました。主要ポジションの国債ポジションから収益があがったものの、これまで安定的な動きを示していたリスク資産価格が急反落となったため、通貨ポジション・株式ポジションがその収益を相殺するに至りました。引き続きグローバル金融市場において金利低下の動きが最も顕著であることから、国債の買い持ちポジションがポートフォリオの中核となる見通しです。国債価格の下落リスクに備えては通貨・株式ポジションが活用され、国債ポジションが損失を生むようなシナリオでこれらのポジションからの収益が期待されます。資産間の相関性が変化する動きとなれば従来通り機動的にポートフォリオが調整されていきます。

文責：GCIシステムティック・マクロファンド 運用チーム

<2> GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスFについて

5月の各戦略は、トレンドフォロー戦略およびカウンター戦略がマイナス寄与となりました。月中の価格高低差（月中の高値と安値の差）はやや拡大傾向になってきましたが、短期トレーディングにおける重要な要素の一つである日次の値幅は安定的に広がりきれておらず、今後、メイン戦略が機能するようなマーケット環境の到来待ちの状況と認識しています。

株式売買金額上位の主な銘柄はソフトバンクグループ、自律制御システム研究所、カオナビ、伊藤忠商事、トビラシステムズなどとなりました。銘柄別の寄与度では、自律制御システム研究所、日本ホスピスホールディングス、ギフト、トビラシステムズ、Amaziaなどがプラス寄与となる一方で、UACJ、ジャパンディスプレイ、CRI・ミドルウェア、ソフトバンクグループ、伊藤忠商事などがマイナス寄与となりました。

今後の株式市場につきましては、再びボラティリティの上昇する良好な相場環境になっていくと見られます。当ファンドにつきましては、引き続き短期のトレーディング戦略の特徴を最大限に生かし、IPO銘柄投資を含む統計的、数学的アプローチによる投資機会を獲得していくように努めます。一方、リスクマネジメントにおいては、厳格な管理によるきめ細かなリスク管理を引き続き行います。特に、ファンド・パフォーマンスの一尺度であるシャープレシオ（リスク調整済リターン）を重視した運用を行います。

文責：GCI株式ロング&ショートトレーディングファンド 運用チーム

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
設定日：2018年9月20日
決算日：原則、毎年6月15日
(休業日の場合は翌営業日)
信託期間：無期限

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

この投資信託は、中長期的な信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して安定的な運用を行います。

ファンドの特色

- 1 「GCIオルタナティブバスケット・マザーファンド」を通じて、GCIアセット・マネジメントのオルタナティブ戦略(指定投資信託証券)に投資することにより、絶対収益の追求を目指します。

※同時に、「GCIマネープールマザーファンド」受益証券を通じて、わが国の短期公社債等に投資を行うことにより、リスクの低減を図ります。

オルタナティブ戦略とは

オルタナティブは英語で「代替」という意味です。株式や債券などの伝統的投資に対して、それ以外の新しい投資スタイルを総称することからオルタナティブ投資と呼ばれています。具体的には、ヘッジファンドやプライベートエクイティ、実物資産、REITなどが挙げられます。

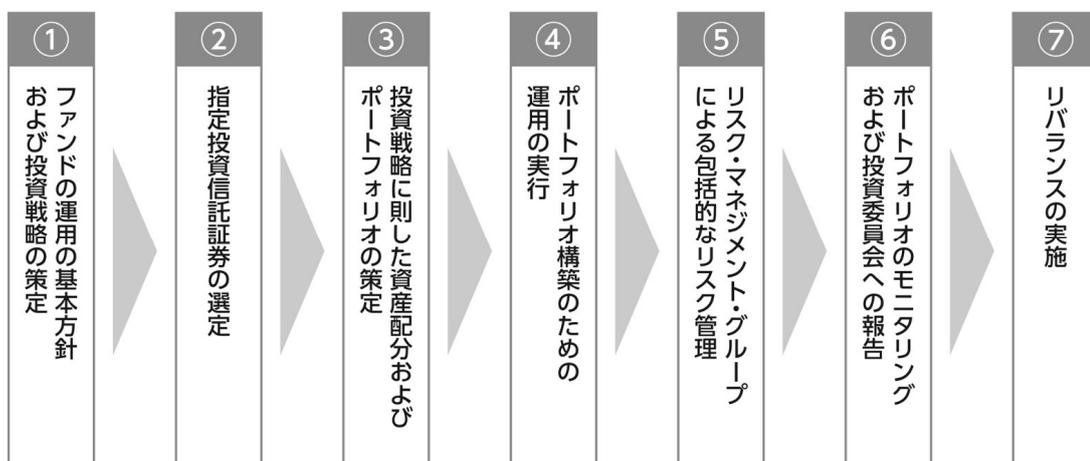
絶対収益追求とは

特定の市場の動向に左右されにくい収益の追及を目指すことをいいます。必ず、収益を得られることを意味するものではありません。

- 2 投資信託証券への投資にあたっては、別に定める投資信託証券の中から、定性評価、定量評価、その他流動性等を勘案して複数の投資信託証券を選定し、想定リスクを勘案してポートフォリオ構築を行うことを基本とします。

※別に定める投資信託証券の詳細につきましては、後掲の「追加的記載事項」をご覧ください。

<運用プロセス>



※上記プロセス図は2018年7月末現在のものであり、今後、変更する場合があります。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 (休業日の場合は翌営業日)
 信託期間：無期限

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

3 実質的な外貨建資産については、市場環境の変化等を勘案し、必要に応じて為替ヘッジを行うことができます。

4 原則、毎年6月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、以下の分配方針に基づき、分配を行います。

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。
- ・分配金額については、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に則した運用を行います。



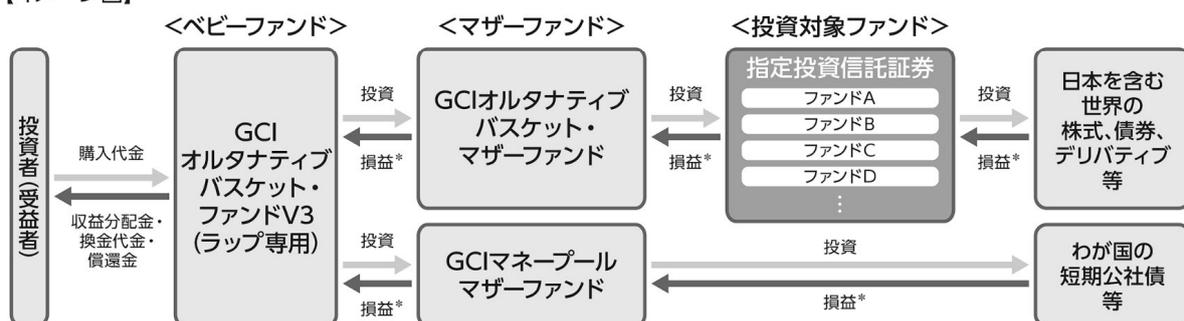
決算

※上記はイメージであり、将来の分配金の支払い及びその金額について示唆、保証するものではありません。

ファンドの仕組み

- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。
 「ファミリーファンド方式」とは、投資者の皆さまからお預かりした資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドの受益証券に投資をして、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。
- GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用されます。
 「ファンド・オブ・ファンズ方式」とは、他の投資信託に投資することにより運用を行う方式です。GCIオルタナティブバスケット・マザーファンドでは、指定投資信託証券として後記に掲げる各投資信託を主要投資対象とします。

【イメージ図】



* 損益はすべて投資者である受益者に帰属します。

<主な投資制限>

- ① マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。
- ② 同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。
- ③ 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- ④ デリバティブ取引の直接利用は行いません。

資金動向や市況動向などによっては、上記のような運用ができない場合があります。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

追加的記載事項

投資対象ファンド(投資信託証券)の概要は以下のとおりです。(2018年7月末現在)

※必ずしもすべての資産クラスおよび投資対象ファンドに投資するとは限りません。

※将来の市況の変化などによっては、新たな投資対象ファンドが追加となる場合があります。

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCIシステムティック・マクロファンド Vol10 クラスM
ファンド形態	外国籍投資信託(円建て)
主な投資対象	世界各国の株式指数先物・債券先物・金利先物、通貨先物、為替
運用の基本方針等	独自に開発した動的ポートフォリオモデルに基づき、世界の金融市場への分散投資を通じて市場に現れる中長期のトレンドを収益の源泉として絶対収益の獲得を目指します。
ベンチマーク	ありません。
運用報酬等	ありません。
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCI株式ロング&ショートトレーディングファンドクラスF (適格機関投資家専用)
ファンド形態	追加型証券投資信託
主な投資対象	GCI株式ロング&ショートトレーディングマザーファンドの受益証券
運用の基本方針等	主として、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、独自に開発した短期アルゴリズム取引を組み合わせた短期トレーディングによるロング・ショート運用を行い、中長期的な信託財産の成長と安定した収益の確保を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。
ベンチマーク	ありません。
信託報酬等	年0.0378%(税抜年0.035%)
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	オルタナティブ
投資対象ファンドの名称	GCIリラティブバリューファンド クラスE1
ファンド形態	外国籍投資信託(円建て)
主な投資対象	わが国および米国の国債、デリバティブ
運用の基本方針等	日米の国債市場を中心に、スワップ、オプション等のデリバティブ取引も積極的に活用しながら、需給動向に伴う相対的な価格のゆがみを収益の源泉として安定した絶対収益の獲得を目指します。
ベンチマーク	ありません。
運用報酬等	ありません。
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

資産クラス	国内債券
投資対象ファンドの名称	GCI マネープールファンド(適格機関投資家専用)
ファンド形態	追加型証券投資信託
主な投資対象	GCIマネープールマザーファンドの受益証券
運用の基本方針等	主として、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本の短期公社債等を投資対象とし、安定した収益の確保をめざして運用を行います。なお、コール・ローン等で運用する場合があります。
ベンチマーク	ありません。
信託報酬等	年0.02268%(税抜年0.021%)
委託会社(運用会社)の名称	株式会社GCIアセット・マネジメント

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信 / 内外 / 資産複合 / 特殊型 (絶対収益追求型)

作成基準日 : 2019年 5月31日
 設定日 : 2018年 9月20日
 決算日 : 原則、毎年6月15日
 (休業日の場合は翌営業日)
 信託期間 : 無期限

追加的記載事項

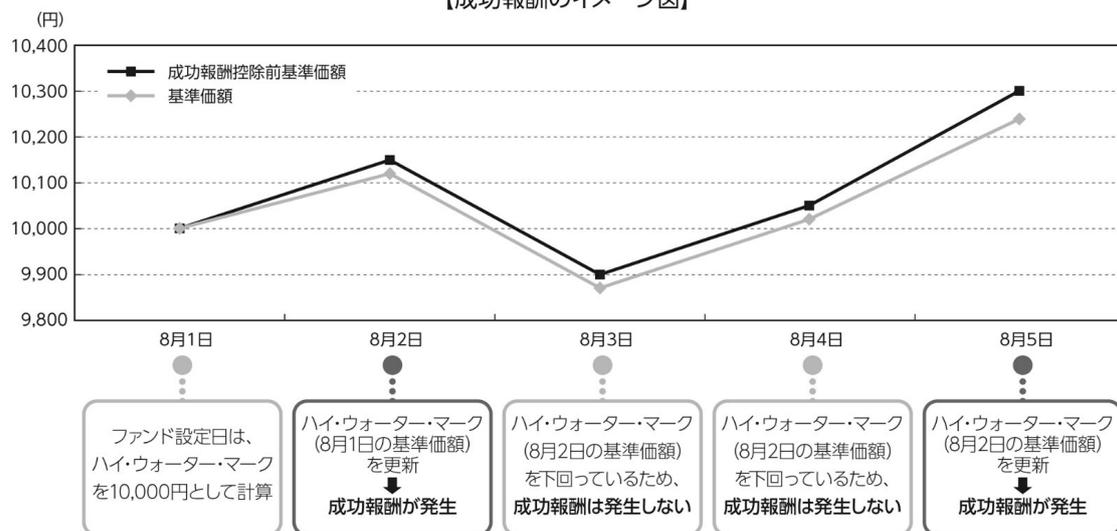
【補足】成功報酬に関するご説明

当ファンドでは、成功報酬をご負担いただきます。成功報酬計算方法のポイントは、以下のとおりです。

- 成功報酬は、ハイ・ウォーター・マーク方式で発生します。
- 成功報酬は、日々計算し、日々確定します。なお、算出式は以下のとおりです。
 - (1) 当日の基準価額から基本報酬額を控除します。(基本報酬控除後の基準価額を、ここでは「参照基準価額」といいます。)
 - (2) ハイ・ウォーター・マーク*よりもその参照基準価額の方が上回った場合、その上回った分に対し、21.6% (税抜20%)相当を成功報酬として控除されます。

*ハイ・ウォーター・マーク(「HWM」と表す場合があります)とは、当ファンドの「基準価額の過去最高値」を表します。
- このため、当日の成功報酬を算出する際のハイ・ウォーター・マークは、前日までの基準価額の最高値となります。
- 成功報酬は日々確定するため、計算期間内に基準価額が下落した場合でも、確定した成功報酬をファンドに払い戻すことはありません。

【成功報酬のイメージ図】



なお、当ファンドでは、基準価額の変動および資金の流出入によって、当ファンドの投資家間の負担の程度が異なるケースがあります。例えば、上記イメージ図において、8月1日に投資を開始した投資家Aは、8月2日の上昇時に成功報酬がかかるため、8月4日時点までの累積で成功報酬を差し引かれていることとなります。

一方、8月3日に投資を開始した投資家Bは、8月4日の上昇時には成功報酬はかからず、8月4日時点までの累計で成功報酬を差し引かれていません。加えて、8月5日に関しては、投資家A・投資家BともにHWM (8月2日時点の基準価額) に対する超過分に対して成功報酬が計算されます。結果として、累積で見ると投資家Aについては8月1日以降の上昇分全てに対して成功報酬がかかる一方、投資家Bについては投資開始時点のHWM (8月2日時点の基準価額) を超過した分のみ成功報酬がかかることとなります。

上記は、当ファンドにおける成功報酬の仕組みを投資家の皆様にご理解いただくために作成したイメージ図であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年 5月31日
 設定日：2018年 9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。**

当ファンドが有する主なリスク要因は以下の通りです。

株価変動リスク	株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
金利変動リスク	債券などの価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。なお、債券などが変動金利である場合、こうした金利変動による価格の変動は固定金利の場合と比べて小さくなる傾向があります。また、発行者・債務者などの財務状況の変化などおよびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢などにより変動します。債券などの価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	為替相場は、各国の経済状況、政治情勢などの様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、当ファンドおよび投資対象ファンド(投資信託証券)において、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減を図る場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジを行う通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかることにご留意ください。
信用リスク	有価証券等の発行体などが財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金などをあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化などにより市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、方針に沿った運用が困難となり、基準価額が下落することがあります。
流動性リスク	時価総額が小さい、取引量が少ないなど流動性が低い市場、あるいは取引規制などの理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。
ヘッジファンドの運用手法に係るリスク	投資対象ファンド(投資信託証券)においては、直接もしくは実質的に現物有価証券、デリバティブや為替予約取引などの買建てや売建てによりポートフォリオを組成することがあり、買い建てている対象が下落した場合もしくは売り建てている対象が上昇した場合に損失が発生し、当ファンドの基準価額に影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンド(投資信託証券)の純資産総額を上回る買建て、売建てを行う場合があるため、投資対象ファンド(投資信託証券)の基準価額は現物有価証券に投資する場合と比べ大きく変動することがあり、投資元本を割り込むことがあります。また、ヘッジファンドのパフォーマンスは、通常、運用者の運用能力に大きく依存することになるため、市場の動向に関わらず、損失が発生する可能性があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
設定日：2018年9月20日
決算日：原則、毎年6月15日
(休業日の場合は翌営業日)
信託期間：無期限

投資リスク

その他の留意点

- ファミリーファンド方式に関する留意事項
当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用を行うため、マザーファンドにおいて他のベビーファンドによる追加設定、一部解約等に伴う有価証券の売買等が行われた場合、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- 収益分配金に関する留意事項
分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は、前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

リスクの管理体制

運用リスクの管理については、運用部門から独立したリスク・マネジメント・グループが日々運用状況の分析およびモニタリングを行い、原則として週次で開催される運用リスク管理会議にて運用リスクの適切性を検証・評価し、リスク管理会議および運用政策会議に報告されます。また、問題が生じた場合には速やかに臨時で招集される運用政策会議に報告が行われ、その対応策が検討・決定される体制となっています。

事務リスク等の管理については、原則として月次で開催される事務リスク等管理会議において、運用に係る業務運営の適切性が検証され、リスク管理会議に報告される体制となっています。

そして、リスク管理会議において、各リスクの発生の有無・状況の把握、対応方針の検討・決定および進捗状況の管理などを行い、重要な事項はさらに運用政策会議に報告される体制となっています。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

手続・手数料等

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	当初申込期間：1口当たり1円とします。 継続申込期間：購入申込受付日の翌々営業日の基準価額とします。 (ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目から販売会社を通じてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた分を当日のお申込み分とします。
購入の申込期間	当初申込期間：2018年9月19日 継続申込期間：2018年9月20日から2019年9月17日までとします。 ※申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
購入・換金の申込受付不可日	以下に該当する日には、購入・換金はできません。 ・シンガポールの銀行休業日の前営業日 ※詳しい申込受付不可日については、販売会社または委託会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口解約には別途制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(設定日：2018年9月20日)
繰上償還	受益権の総口数が10億口を下ることとなった場合等は、償還となる場合があります。
決算日	原則、毎年6月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。 収益分配金の受取方法により、「一般コース」と「自動けいぞく投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託金の限度額	1,000億円
公 告	原則として電子公告の方法により行い、委託会社のホームページにて行います。 URL : https://www.gci.jp
運用報告書	毎決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、販売会社を通じて知れている受益者に交付します。
課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。 配当控除・益金不算入制度の適用はありません。
そ の 他	購入申込みにあたっては、販売会社によってラップ口座の開設が必要な場合があります。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

ファンドの費用・税金

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用													
購入時手数料	ありません。												
信託財産留保額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額に 0.05% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。												
投資者が信託財産で間接的に負担する費用													
運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、(1)基本報酬に(2)成功報酬を加算して得た額とします。 ファンドの信託報酬は毎日計算し、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。</p> <p>(1)基本報酬 日々のファンドの純資産総額に基本報酬率を乗じて得た額とします。 基本報酬率：純資産総額に対し年率0.4752% (税抜0.44%) 基本報酬の配分ならびにこれらに対価とする役務の内容は以下のとおりです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>支払先</th> <th>料率(年率)</th> <th>役務の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託会社</td> <td>0.4320% (税抜0.40%)</td> <td>委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>0.0108% (税抜0.01%)</td> <td>購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>0.0324% (税抜0.03%)</td> <td>信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など</td> </tr> </tbody> </table> <p>投資対象ファンド(投資信託証券)における運用報酬等：年率0.00756%程度(税抜0.0070%程度)* 実質的な負担：年率0.48276%程度(税抜0.4470%程度)* *上記の値はあくまで目安であり、指定投資信託証券の実際の組入れ状況等により変動する場合があります。</p> <p>(2)成功報酬 委託会社は、基本報酬に加えて、ハイ・ウォーター・マーク方式を用いた成功報酬を受領します。 基本報酬等控除後の基準価額が、その時点におけるハイ・ウォーター・マーク(基準価額の過去最高値)を上回った場合、その上回った部分に対し21.6% (税抜20%)相当の成功報酬がかかります。</p>	支払先	料率(年率)	役務の内容	委託会社	0.4320% (税抜0.40%)	委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など	販売会社	0.0108% (税抜0.01%)	購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど	受託会社	0.0324% (税抜0.03%)	信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など
	支払先	料率(年率)	役務の内容										
	委託会社	0.4320% (税抜0.40%)	委託した資金の運用、基準価額の算出、開示資料の作成など										
	販売会社	0.0108% (税抜0.01%)	購入後の情報提供、運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、各種事務手続きなど										
受託会社	0.0324% (税抜0.03%)	信託財産の管理、委託会社からの指図の実行など											
その他の費用・手数料	<p><売買委託手数料など> 別に定める指定投資信託証券・有価証券売買時の売買委託手数料、立替金の利息、ファンドに関する租税などが信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。</p> <p><信託事務の諸費用> 監査費用、印刷費用、計理業務およびこれに付随する業務に係る費用などの諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%を上限として日々計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</p>												

※投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

GCIオルタナティブバスケット・ファンド V3 (ラップ専用)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）

作成基準日：2019年5月31日
 設定日：2018年9月20日
 決算日：原則、毎年6月15日
 （休業日の場合は翌営業日）
 信託期間：無期限

委託会社・その他の関係法人の概要

委託会社	<p>株式会社GCIアセット・マネジメント [ファンドの運用の指図を行う者]</p> <p>金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第436号 加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会</p>
照会先	<p>電話番号 03（3556）5040（営業日の9:00～17:00） ホームページ https://www.gci.jp</p>
受託会社	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 （再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社） [ファンドの財産の保管及び管理を行う者]</p>

販売会社

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本商品先物取引協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○

- ・ お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<ご留意事項>

- 当資料は、株式会社GCIアセット・マネジメント（以下「当社」といいます）が、当ファンドの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、必ず最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は、作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、参考として記載されたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。
- 投資信託は預金保険制度の対象ではありません。また、銀行が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。